

はあ〜てい

7月1日号
2014

「はあ〜てい」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

笑顔の合言葉は“フルール”!!



ひでと農園（西部開発地）にて

太陽の下で土に親しむ農作業！

フルール益田では、益田の農業を担う元気な若者と雇用契約を結び、農業を通じた社会参加の場として、昨年10月から活動を開始しました。

仕事の内容は、種まきから出荷まで一連の作業を行います。栽培作物はパプリカ・ミニトマト・青ネギ・葉わさび・大根等色々な種類の作物を作っています。夏の暑さ、冬の寒さ、力仕事など大変なこともあります。野菜を作る喜び、仲間と協力する楽しさなどたくさんの笑顔があふれる素敵な職場です。将来的には、加工品の販売や、レストラン経営を目指しています。

コミュニケーションを大切に！

仕事は集中！休憩は楽しく！

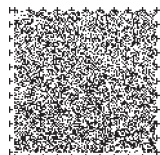
仕事に自信を！

をモットーに、一人ひとりが**主役**となって、少しでも良いものを作って地元へ貢献し、地域の方々に愛されるよう頑張っていきます。

就労継続支援A型事業所 フルール益田
代表 豊田 浩

就労継続支援A型事業所とは…

障がいの軽重にかかわらず働くことに意欲を持っている方と雇用契約を結び、最低賃金を保障する施設です。一般就労に必要な知識、能力を高め、必要な指導等を実施し、一般就労への移行を目標とするサービスです。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

益田市社協

検索

平成26年度 社協会費協力のお願い

【社協会費とは？】

社会福祉協議会（社協）は、地域福祉の推進を図ることを目的とする民間の福祉団体（社会福祉法人）です。社協の運営財源は、自主財源として市民の皆さまから寄せられる「社協会費」や「寄付金」、島根県共同募金会から助成される「共同募金助成金」です。また、事業の公共性にもとづく県や市からの補助金・委託金があります。

社協では、毎年市民の皆さまに全世帯加入のお願いをしています。また、地域で活躍されている法人や団体・事業所などにもご協力をお願いしています。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、皆様からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【会費の種類】

いずれも1口あたりの金額です。

- 一般会費 800円（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしています。）
- 賛助会費 1,000円以上（社協役員、評議員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費 5,000円（篤志家、会社、団体）

【会費の使途】

皆さまから寄せられた会費は、右記のような地域福祉事業のために有効に活用させていただきます。

- ・モデル的事業助成
- ・社会福祉大会
- ・社協だより発行
- ・福祉出前講座
- ・地区社協活動支援
- ・ボランティア講演会
- ・相談事業
- ・法人運営 など
- ・ネットワーク研修会
- ・サマーボランティアス
- ・出前手話講座クール

《申込方法》 一般会員会費につきましては、各自治会を通じ、お願いしております。

賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口、または下記連絡先にお問い合わせください。

《お問い合わせ先》 益田市社会福祉協議会 TEL 22-7256 FAX 23-4177まで

益田電通退職者の会 代表竹本義和（乙吉町）

【物品寄贈】 三浦 幸枝（美都町都茂）

（株）島根銀行益田支店（あけぼの西町） 一万九千八百九十円

千波流美里会 金一封

（有）益田自動車鍍金塗装（東町） 金一封

【一般寄付】 椋木 恵子（匹見町匹見） 金一封

吉川 君子（神田町） 金一封

【見舞返し】 椋木 恵子（匹見町匹見） 金一封

（故）間 幸子（匹見町匹見） 金一封

（故）吉田 卓雄（匹見町紙祖） 金一封

（故）大石 健司（美都町仙道） 金一封

（故）三浦 昇（美都町宇津川） 金一封

（故）永本 幸義（美都町山本） 金一封

（故）山根 逸人（美都町宇津川） 金一封

（故）児玉 正（戸田町） 金一封

（故）山崎 正美（遠田町） 金一封

（故）三原 一明（大谷町） 金一封

（故）高橋 常子（種村町） 金一封

（故）宮内 隆（戸田町） 金一封

（故）又賀 勝美（下本郷町） 金一封

（故）山本 和美（種村町） 金一封

（故）中島 規雄（安富町） 金一封

（故）柳井 享（乙吉町） 五万円

（故）齋藤 篤（赤雁町） 十万円

（故）齋藤 秀夫（久城町） 十万円

（故）匿名 光弘（東町） 金一封

（故）三上 正治（小浜町） 金一封

（故）木島 真也（広島市中区） 金一封

（故）有田 真也（下本郷町） 金一封

（故）川本ヤス子（下本郷町） 金一封

（故）岡崎 正雄（白上町） 金一封

（故）中島アヤコ（東町） 金一封

（故）領家 一如（駅前町） 金一封

（故）松元 善生（下本郷町） 金一封

（故）平川ツルエ（中吉田町） 金一封

（故）石山タマヨ（下種町） 金一封

【香典返し】 敬称略

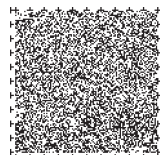
（平成26年4月1日～平成26年5月31日）

ふれあい福祉相談所のご案内 7月・8月の相談日

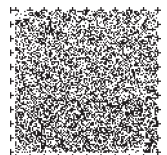
場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談 13:00～15:00（要予約）	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
7月	11日(金)	11日(金)	11日(金)・25日(金)
8月	8日(金)	8日(金)	8日(金)・22日(金)

上記相談日以外でも専任相談員がお受けします。



お問い合わせ・予約
益田市社会福祉協議会
(月～金 8:30～17:30) TEL 22-7256



平成25年度 益田市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化の進行や、働き方などの生活様式の変化に伴う地域社会や家庭の変容、地域での繋がり希薄化や、厳しい雇用情勢による社会的孤立・生活困窮者など格差の増大、虐待や悪徳商法等に対する権利擁護など、地域における生活・福祉課題は多様化、拡大しています。

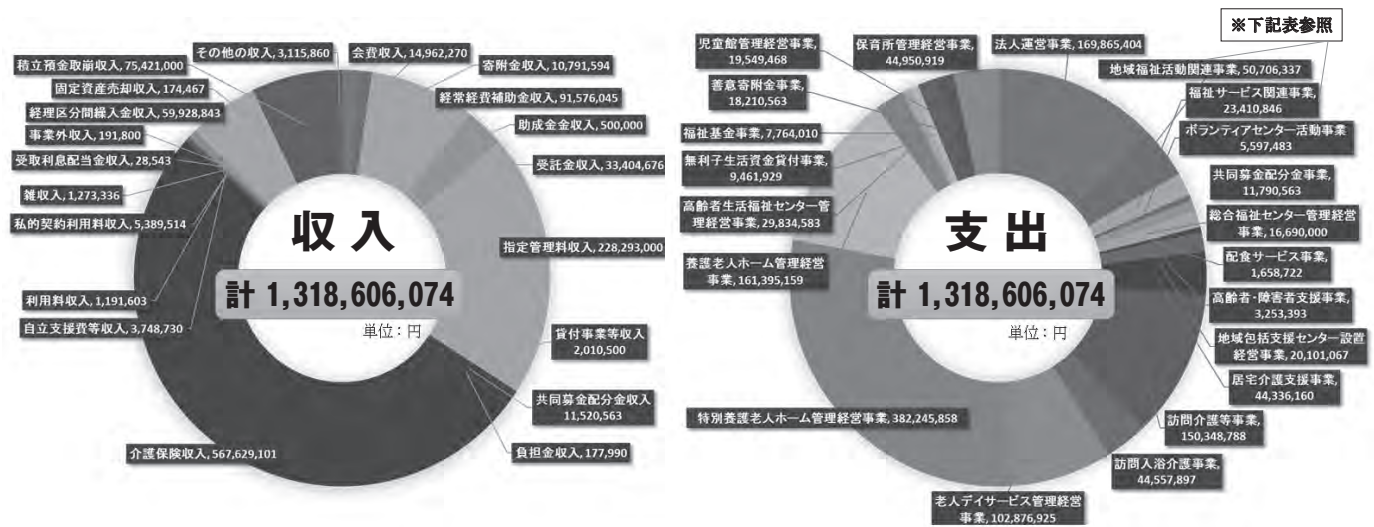
こうした多様な課題へ対応していくためには、地域の福祉力を高めていくことが不可欠であり、一人ひとりが地域の生活・福祉課題に気づき、受け止め、その解決に向けて提案・実践していくことが必要です。また、社会福祉関係者や行政はともに地域福祉を推進するパートナーとして、その実践を支援するとともに、福祉力を高めるためにより一層連携・協働していくことが必要です。

そうしたことから、住民相互の助け合い、支え合いをめざし、小地域ネットワーク活動モデル自治会の指定、支え合いマップづくり研修会、市と協働しての第2期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的策定などに取り組みました。

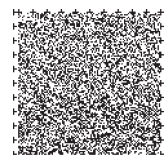
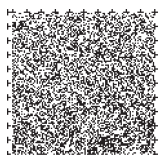
一方、介護保険事業は介護報酬の見直しや施設入所志向の高まり、在宅重介護度の方の減少等により、財政状況は厳しい状況でした。新規利用者やリピーターの獲得、加算取得等による実績増を図りました。

平成25年度に全職員に実施した職員アンケートから見えてきた課題に対応し、平成26年度から非正規職員への処遇改善、資格取得祝金の創設に向けて、説明会開催等準備を進めました。魅力ある職場づくりに取り組み、スキルアップや職員定着率向上につなげていきます。

平成25年度 一般会計決算



地域福祉関連事業(内訳)	単位(円)	福祉サービス関連事業	単位(円)
福祉活動専門員活動事業	22,176,055	ふれあい福祉相談事業	3,214,586
地域福祉活動推進事業	20,315,035	マイクロバス運行事業	6,951,338
ふれあいのまちづくり事業	8,215,247	生活福祉資金貸付事業	3,145,204
		福祉サービス利用援助事業	10,099,718



「社協事業にご協力いただきありがとうございました」

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めていくために市民の皆さまからの会費や寄付金・共同募金配分金などで関係機関や団体・ボランティアそして多くの市民の皆さまの参加と協力を得ながら以下の各種事業を実施しました。

平成25年度 事業報告

社協基盤の強化推進

- 理事会3回/評議員会3回/監査会1回の開催
- 広報活動 社協だより「はあ〜てい」発行(年6回)
ホームページによる広報
- 会員の増強と社協財源の確保
- 地区社協支援 財源支援総額 13,314,940円

施設福祉サービスの経営管理強化

【特別養護老人ホーム】

- 美寿苑(定員30人).....定床利用率 100.2%
- もみじの里(定員30人).....定床利用率 98.2%

【短期入所生活介護事業】

- 美寿苑(定員6名).....月平均利用者数 14.5人
- もみじの里(定員8人)
.....月平均利用者数 19.5人

【高齢者生活福祉センター事業】

- ふれあいの園(定員12名)
.....月平均利用者数 10.9人

【養護老人ホーム事業】

- 春日荘(定員50名)
訪問介護.....月平均利用者数 29.9人
通所介護.....月平均利用者数 5.2人
福祉用具貸与.....月平均利用者数 19.3人

在宅福祉サービスの運営強化

【地域包括支援センター】

- 美都地域包括支援センター.....介護予防ケアプラン 522人/延べ相談件数 573件
- 匹見地域包括支援センター.....介護予防ケアプラン 482人/延べ相談件数 1,479件

【介護保険事業】

- 訪問介護事業.....延べ訪問回数 本所 11,382回/美都支所 2,100回/匹見支所 1,677回
- 訪問入浴介護事業.....延べ利用者数 1,494人
- 通所介護事業.....延べ利用者数 美都支所 6,905人/匹見支所 2,631人
- 居宅介護支援事業.....延べ利用者数 本所 1,138人/美都支所 408人/匹見支所 509人

【移送サービス】

-延べ利用者数 21人

【配食サービス】

-延べ利用者数 美都支所 704人/匹見支所 901人



「社協事業にご協力いただきありがとうございました」

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めていくために市民の皆さまからの会費や寄付金・共同募金配分金などで関係機関や団体・ボランティアそして多くの市民の皆さまの参加と協力を得ながら以下の各種事業を実施しました。

平成25年度 事業報告

社協基盤の強化推進

- 理事会3回/評議員会3回/監査会1回の開催
- 広報活動 社協だより「はあ〜てい」発行(年6回)
ホームページによる広報
- 会員の増強と社協財源の確保
- 地区社協支援 財源支援総額 13,314,940円

施設福祉サービスの経営管理強化

【特別養護老人ホーム】

- 美寿苑(定員30人).....定床利用率 100.2%
- もみじの里(定員30人).....定床利用率 98.2%

【短期入所生活介護事業】

- 美寿苑(定員6名).....月平均利用者数 14.5人
- もみじの里(定員8人)
.....月平均利用者数 19.5人

【高齢者生活福祉センター事業】

- ふれあいの園(定員12名)
.....月平均利用者数 10.9人

【養護老人ホーム事業】

- 春日荘(定員50名)
訪問介護.....月平均利用者数 29.9人
通所介護.....月平均利用者数 5.2人
福祉用具貸与.....月平均利用者数 19.3人

在宅福祉サービスの運営強化

【地域包括支援センター】

- 美都地域包括支援センター.....介護予防ケアプラン 522人/延べ相談件数 573件
- 匹見地域包括支援センター.....介護予防ケアプラン 482人/延べ相談件数 1,479件

【介護保険事業】

- 訪問介護事業.....延べ訪問回数 本所 11,382回/美都支所 2,100回/匹見支所 1,677回
- 訪問入浴介護事業.....延べ利用者数 1,494人
- 通所介護事業.....延べ利用者数 美都支所 6,905人/匹見支所 2,631人
- 居宅介護支援事業.....延べ利用者数 本所 1,138人/美都支所 408人/匹見支所 509人

【移送サービス】

-延べ利用者数 21人

【配食サービス】

-延べ利用者数 美都支所 704人/匹見支所 901人



高齢者や障がいのある方が、地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか？ 日常生活自立支援事業 生活支援員養成研修 受講生募集

■目的

益田市社会福祉協議会では、認知症や障がいなどの理由により判断能力が十分でない方々が、できるかぎり地域で安心して自立した生活が送れるよう様々な支援をする「日常生活自立支援事業」を実施しています。その中心的な役割を担う生活支援員を養成し、充実した支援を提供できる体制の整備を目的として養成研修を実施します。

■開催日時

- 1回目 8月7日(木) 13:30~16:40
- 2回目 8月21日(木) 13:30~16:50
- 3回目 9月4日(木) 13:30~16:40
- 4回目 9月10日(水) 13:30~16:40
- 5回目 9月18日(木) 13:30~16:20

※申込にあたっては、全カリキュラムの出席を条件とします。

■場 所

益田市総合福祉センター

■対象者

益田市内に在住在勤で、生活支援員として活動を希望される方、地域の福祉に貢献しようとお考えの方。

■募集定員

30名

■受講料

無料(尚、受講後の活動には若干の報酬が支払われます。)

■募集締切

7月25日(金)

■申込方法

社協ホームページ、益田市社協(本所、美都支所、匹見支所)、及び各地区振興センターにある応募要項でご確認の上、益田市社会福祉協議会までお申し込みください。

■問い合わせ先

益田市社会福祉協議会 TEL (22-7256)
担当 早内・長岡まで

Vol. 4 市内ボランティアグループ紹介

わたしたちのまちのボランティア 北仙道地区ボランティア連絡協議会

代表：奥田 隆夫
設立：昭和54年8月4日
会員数：40名

私たちの会は、4つの支部(赤雁、大草、乙子、山折)で構成され、毎月、配食サービスまたは一ヶ所集って独居者とともに交流談話の昼食会を開催しています。毎年12月には、「はつらつ会」として、独居者を含め高齢者とともに、送迎付きで公民館で出会いの場、昼食等を楽しんでいただいています。

心と心の交流の欠如、お茶飲み友達が不足して、心の貧しさが社会を暗くしている昨今ではありますが、日頃の話の場として楽しい日を過ごしてもらうこと、お互いの元気を確かめながら、次回の出会いを楽しみに待ってもらえるよう、活動しています。



益田市社協本所の組織改編について

平成26年6月1日をもって、本所組織の機能強化を目的として、下記の通り「2部4課制」と致しましたのでお知らせします。

